



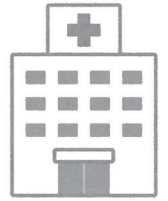
改革21

質問者

くらもと たかふみ
蔵本隆文議員

所属議員

ふじい よしあき
藤井義明議員



市民病院基本構想（原案） は正しいのか？

議員 市民病院は耐震化不可能な上、医師不足、患者の減少により、毎年2〜4億円の欠損金を計上し、平成30年度末で累積欠損金は約38億円である。市の財政調整基金も同年度6億円まで減少した。建替えの根拠としている100人会議は、資料の事前配布もなく、3時間で終わっている。アンケートに正当性はあるのか。また、広域での建設は、単市の場合より補助金も2割程度多く、市民の負担も大きく変わるが、近隣の首長に相談したのか。

市長 アンケートは、正当と考えている。現時点では近隣の首長には相談していない。

議員 市民の負担を軽減するためにも、広域での建設を願う。

笠岡に引っ越してきたのに 水道が使えない事になっていった

議員 市内に新たに移住された若い世帯が、隣接する家との間に水田が一つあるため、市水を引くための個人負担が何百万円となり、断念し、質の悪い井戸水で我慢されている。30年以上前の規程を変えず、このような状態を放置してよいのか。

市長 申込み2戸以上なら一部負担で可能だが、1戸ではできない。

議員 家の密集した街中ならすぐ水道は引ける。周辺地域で定住施策を行うと、間に水田1つあると引けない。内部留保が18億円あるなら規程改正して実施できないか。

市長 定住促進のためには、水道料金を300円でも下げて、定住を促すことを管理者として選ぶ。



笠栄会

質問者

やまもと としあき
山本俊明議員

所属議員

せのお ひろゆき
妹尾博之議員



市長の1期目の自己評価と 2期目にかかる決意を問う

議員 市長は、①経済基盤の拡大と雇用の確保、②生活水準を向上し福祉を充実する、③笠岡市の海・島・山・干拓地といった資源や歴史・文化的な資源の保全、以上3つの視点でバランスを確保しながら市で暮らす価値を向上させる政策を展開してきたと思う。この事を踏まえた上で、1期目を終えて自らの評価、2期目にかかる決意をたずねる。

市長 平成27年との比較では約21億5千万円の自主財源が増加した。4年間で間違いなくいい方向に向かっている。これからの4年間は、引き続き積極的に企業誘致雇用拡大による税収増につなげ、その財源を教育、子育て、福祉に再投資する正のスパイラルを確実なものにする。

新型コロナウイルス 感染症対策を問う

議員 新型コロナウイルス感染症へは、国が施策、事業を実施すべきであり、国の責任だと考える。同時に感染症対策は、地域の実情に応じて実施する必要がある。自治体の役割も重要である。この前例のない事態に市、市職員はどのように向き合っているのか。第2波、第3波が来た場合の対応についてたずねる。

市長 国や県の交付金を財源に、本当に困っている方々に支援が届くように、市民の声に耳を傾け、1人10万円の現金給付を行う事業等を実施した。地域経済に好循環を与えられるような施策を検討する。予想される2波、3波に備え、感染拡大を予防する生活様式を実践していただき、保健所とも連携をとる。